

企業 PR コラム

国内唯一の一体型軟鉄鍛造 ～1本の鉄からアイアンヘッドへ～

共栄ゴルフ工業株式会社
取締役 望月実香

お陰様で、私たちは日本のゴルフクラブ生産発祥の地「兵庫県市川町」で50年間、「素材・製品・品質」にこだわりながら、軟鉄鍛造 フォージド (FORGED) アイアンヘッドを造り続けております。

個性化、多様化が言われて久しい現代、本当に求められているのは何であるかを真剣に考えなければならない時代であると思います。共栄ゴルフはそんな時代の中で、ゴルフクラブという商品を通じ、日夜その命題に取り組んでいます。

本物の個性的な商品を生み出していくには、社員一人一人にお客様を思うところ、「奉仕のこころ」が必要不可欠であると考えています。そのため社員各人が自分を鍛え、練成していく場と時間



を持ち、人間形成に良い環境作りに重点を置いています。その結果、生産工場内では各人が後工程の仕事も気遣う“やさしさ”と、使っていただくお客様を気遣う“丁寧さ”の相乗効果で、業界最高の安定高品質を実現、維持しています。

日本のもので世界へ発信していくためには更なる技術開発が必要とされるでしょう。「ミスターフォージド」と呼ばれた我が創業者は「人生へのチャレンジ」を掲げてアイアンヘッド製造に取り組みました。この精神的伝統をも受け継ぎ進化させ次代に繋いで参りたいと思います。今回はこのような私たちにご縁を頂きました。私たちの「チャレンジ」をどうぞ見守りご指導いただきます様、お願い申し上げます。



共栄ゴルフ工業株式会社

〒679-2315 兵庫県神崎郡市川町西川辺5
TEL 0790-26-2211
FAX 0790-26-1131
URL <http://www.kyoeigolf.co.jp>

ATAC ひと言

玉乃光酒造（京都市伏見区）見学記 ～伝統産業の奥深さを実感できました～

ATACでは有志で年に1～2回地元の企業を見学し、ものづくり技術の勉強に役立てています。

2014年3月8日に8名で京都市伏見区の玉乃光酒造を見学しました。当社は1673年に紀州徳川藩の免許により和歌山で創業しましたが、戦災で伏見に移転しました。

伏見は灘五郷などと並ぶ酒どころです。山科を通る琵琶湖の伏流水に恵まれ、一時は50社を数えましたが、洋酒化の波に押され、現在は20数社とのことです。先ず、辻本執行役員・生産部長から酒づくりの概要を聞きました。

伏見の水はCa、Mgなどのミネラルが多く、醗酵に適しているとのこと。

水と並んで酒づくりに大事なものは米です。酒米では兵庫県産の「山田錦」が有名ですが、玉乃光ではその基になっている岡山市雄町産の「雄町（マヂ）」を使い、田植えから育てています。「雄町」は米粒の内部が多孔質で白く、麴とよくなじみ、50%まで精白したものは蛋白・脂肪の多い表皮部がとれて雑味の無い味が出るとのこと。この50%まで精白したものを純米大吟醸、60%を純

米吟醸、70%を純米本醸造と呼んでいます。

次に酒づくり現場を見学しました。酒の醸造は、蒸米に麴を混ぜて糖化させ、酵母をくわえて発酵させてアルコールにします。見学時は酒づくりのシーズンが終わっていましたが、その分、醸造槽の内部などじっくり見られました。

見学後には宇治田オーナーも交えて感想などを話し合いました。また当社で醸造した酒を試飲させていただいて見学会を終えました。

今回は伝統産業の一つである酒造業を見学でき、普段あまり気付かなかったことを見聞できました。和食が世界無形文化遺産に登録され、和食に合う酒として清酒が内外で見直されていると聞きます。酒造業の繁栄を祈りたく思います。

（池田（隆））

